

## ◎後任応募落選も悔いなし

6/24に開会した県議会は去る9日に閉会しました。当初上程されていた補正予算は全て可決されましたが、私がNO. 29でお知らせした「ワクチンの県の大規模接種会場設置の延期」(中島みゆき『糸』作戦)の要望についても会期中で補正予算が追加上程され、最終日に審査～可決となりました。

このことでさらに64歳以下の人に留まらず、エッセンシャルワーカーをはじめとした職域接種が推進されます。但し報道でも懸念されている、今月初めからの自治体へのワクチンの供給に遅れが出ていることについては来月には解消したいと担当大臣が言明していますので、その改善を待つこととなります。(大学での接種は文科省が600万人分のワクチンを既に確保していますので問題はなく、夏休み明け9月新学期からは接種を終えた学生がキャンパスに通学できます)

## 県ワクチン接種センターの設置(期間延長) 516,765千円

○ ワクチン接種促進のため、県における集団接種会場の設置期間を延長

〔設置場所〕 長崎地区及び佐世保地区(2箇所)

〔設置期間〕 令和3年8月6日まで → 令和3年10月8日まで延長

〔接種対象〕 高齢者施設等職員、保育所・幼稚園職員、教職員などの優先接種対象者及び64歳以下一般接種対象者

長崎市区選出の自民党員、前田哲也氏(57)は8日、長崎新聞の取材に対し、次期衆院選長崎1区で不出馬を表明した同党現職の後任候補公募で、応募書類を党県連に提出したと明らかにした。また、同市区選出の同党県議、浅田眞澄美氏(54)も同日、公募に応じる意向を示した。

前田氏は「国政の場で長崎市の発展、特に経済回復・雇用維持に尽力したい」と述べた。同市出身。長崎西高、甲南大卒。同市議を3期務め、現在は県議3期目。今春まで党県連政調会長を2年務めた。

前田氏応募、浅田氏意向  
衆院長崎1区自民候補

さて、自民党県連内にもこの間大きな動きがあり、先月末に本県1区の富岡 勉衆議の突然の次期衆議院選挙不出馬表明により、県連では急遽7/5~9の5日間、後任候補を広く公募することになり、私も塾考のうえ手を挙げさせてもらいました。

結果、県内外から11人の応募があり1次審査で6人に絞られ(県議3名、国会議員秘書、厚労省職員、富岡代議士長男)、

11日開催の選考委員会での選考の結果、報道にありました通り国会議員秘書の初村滝一郎氏に決定いたしました。

人には人生を変える「節目・区切りとなる」出来事があるとすれば、今回の後任公募は私にとってまさにそのような出来事であったと思います。

手を挙げたことで改めて確認できた自身の目標、自らの歩みの振り返り、嬉しかったこと、悔しかったこと他多くの気づき。そして身に余るほどの大きな期待の声、そのことによって再認識した自分の弱さ…

結果は残念でしたがこれもまた私の実力。今はむしろ爽やかな気持ちでいます。ここまで育てて頂きありがとうございます。さらに精進いたします。

梅雨が明けます暑さが増す中、ご自愛のうえお過ごしくださいませ。

